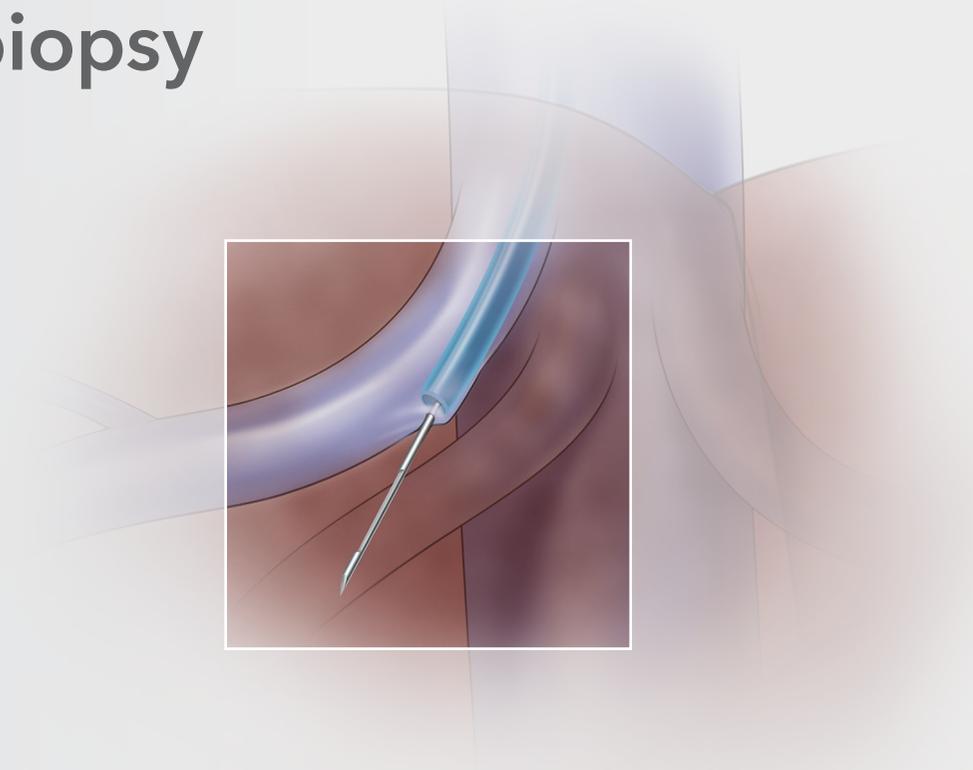


Transjugular liver access and biopsy

図解付きガイド



Illustrations by Lisa Clark

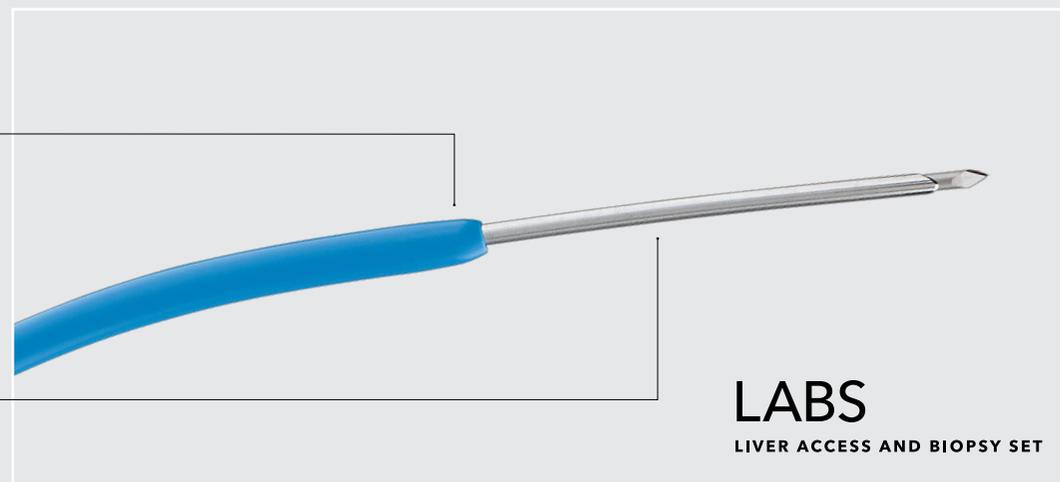
LABS

LIVER ACCESS AND BIOPSY SET

経頸静脈的肝生検用にデザインされたアクセス・生検針セットが 処置をサポートします。

本品には経頸静脈的肝生検に必要な
器具が含まれています。

- 異常な血液凝固や腹水が認められる症例に、経皮的肝生検に代わる経頸静脈的アプローチを実現
- カーブ型のカテーテルとカニューラがより容易な肝静脈へのアクセスを実現
- 生検針を組織に挿入し、繰り返し組織を採取



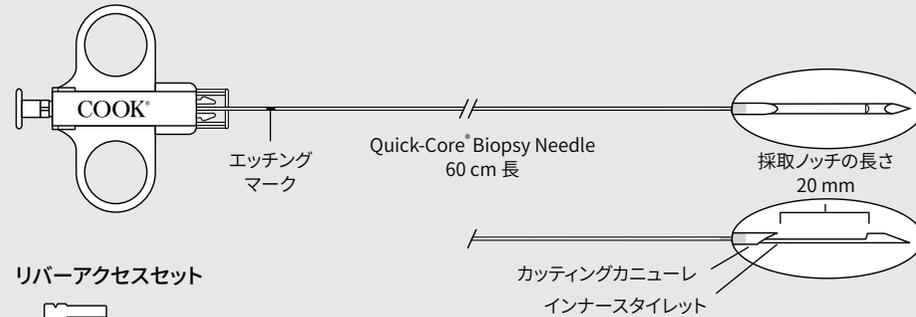
グローバル 製品番号	カタログ 番号	ニードル ゲージ	ニードル 長 cm	採取ノッチ 長さ mm	シース Fr
G50779	LABS-100-J	18	60	20	7

Transjugular liver access and biopsy

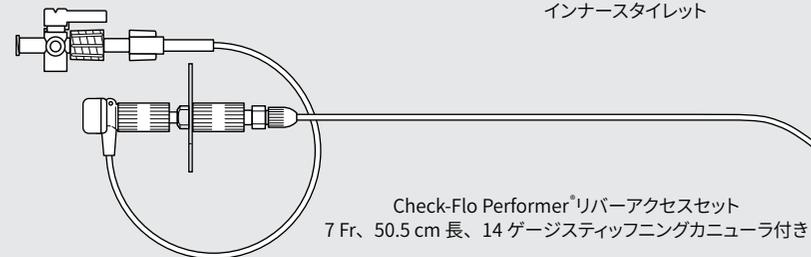
図解付きガイド

詳細な使用方法や注意事項は添付文書を参照してください。

クイックコア生検針



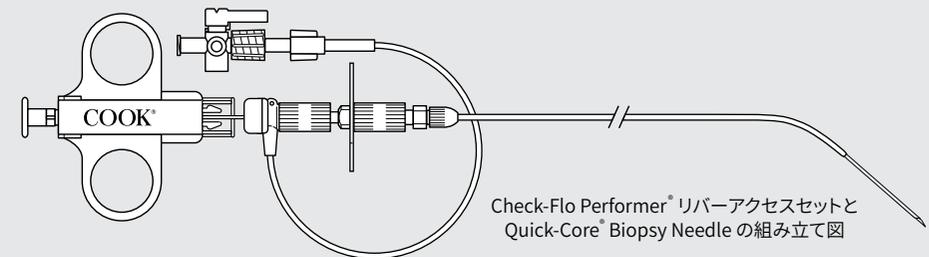
リバーアクセスセット



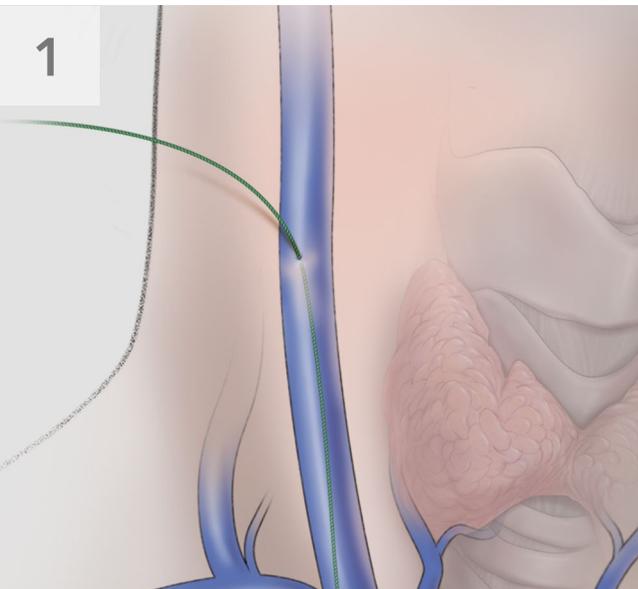
テフロンカテーテル



ナイロンカテーテル



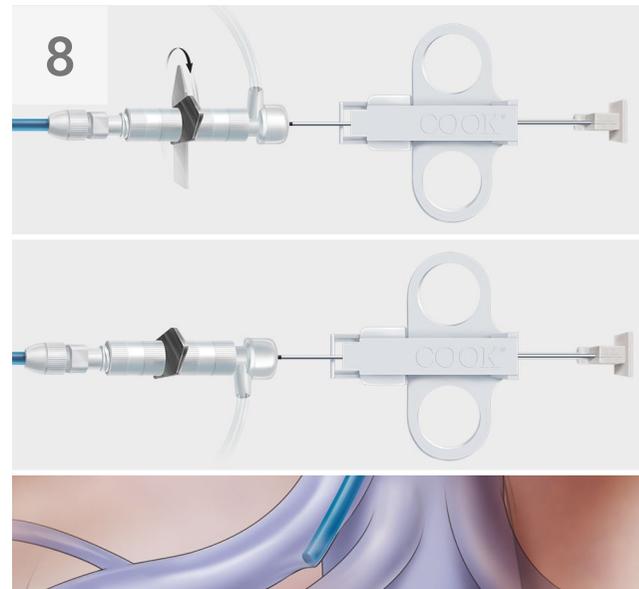
1



警告：引き戻す際にカテーテルがばらばらにならないよう、操作や抜去の際には十分注意してください。人工血管グラフトからの挿入はできる限り避けてください。

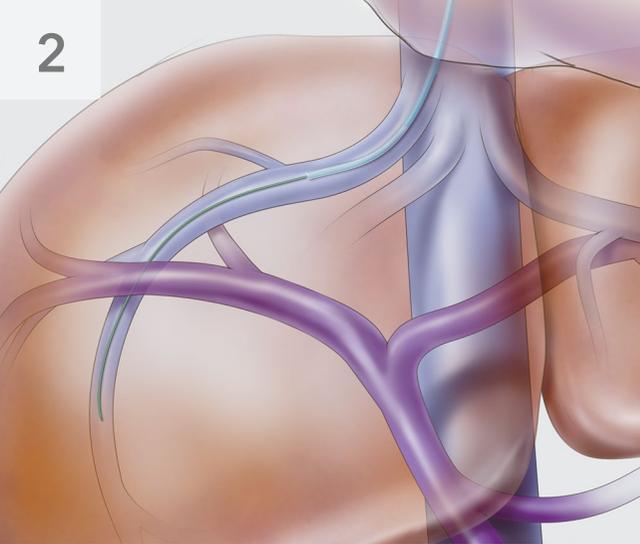
標準的なアクセス法を用いて、.035 inch 径ガイドワイヤを頸静脈から下大静脈に進めます。

8



金属製スティフニングカニユーラのハブに表示された矢印に従い、Check-Flo Performer® リバーアクセスセットと Quick-Core® Biopsy Needle を適切な方向に回した後、前方に軽く押し、生検部位に隣接する肝静脈壁を押し上げます。

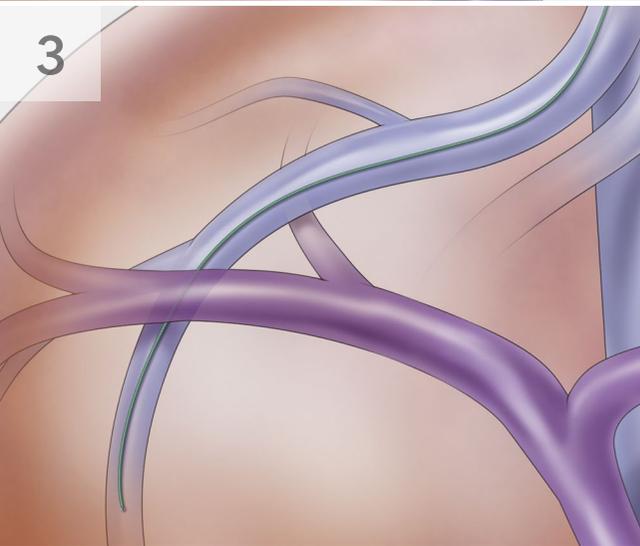
2



適切なカテーテルとガイドワイヤを使用し、右肝静脈 (RHV) または肝静脈枝に挿入します。(ガイドワイヤはセットに含まれておりません)

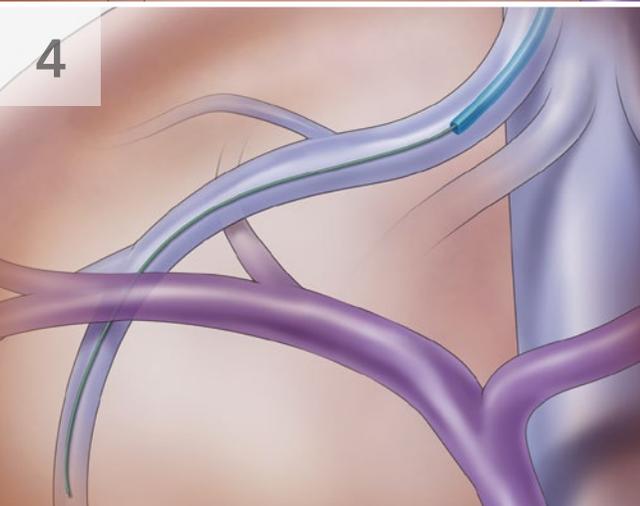
注意：右房を通過する際は不整脈の防止のため、持続的な心臓モニタリングを行うことが推奨されます。

3



安全な遠位部にガイドワイヤを残し、カテーテルを抜去します。

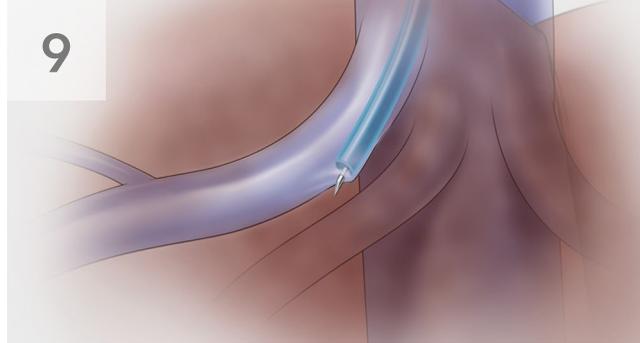
4



Check-Flo Performer® リバーアクセスセットをガイドワイヤに沿って挿入し、肝静脈に進めます。

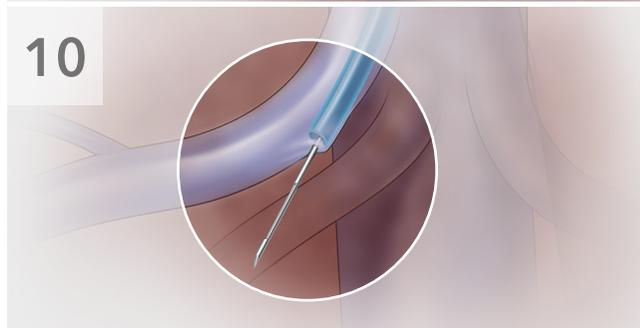
この際、付属のストレートカテーテルを使用すると挿入しやすくなります。

9

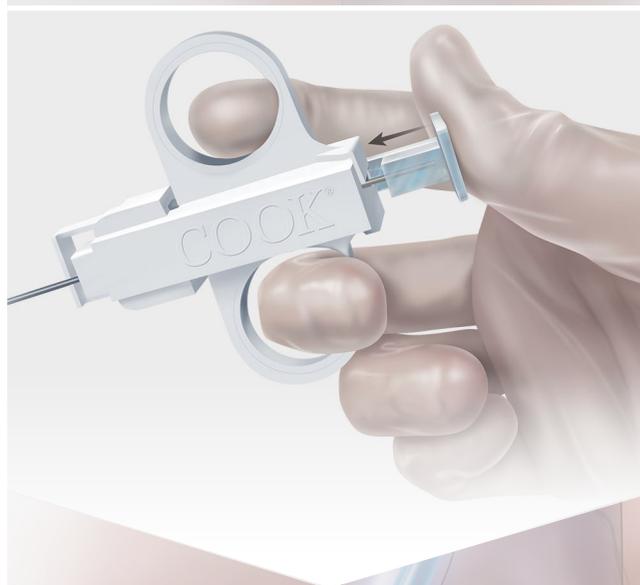


Check-Flo Performer® リバーアクセスセットの先端から出るまで Quick-Core® Biopsy Needle を進め、肝組織に挿入します。**Quick-Core® Biopsy Needle が適切な位置に達するまで、スタイレットは押さないでください。**

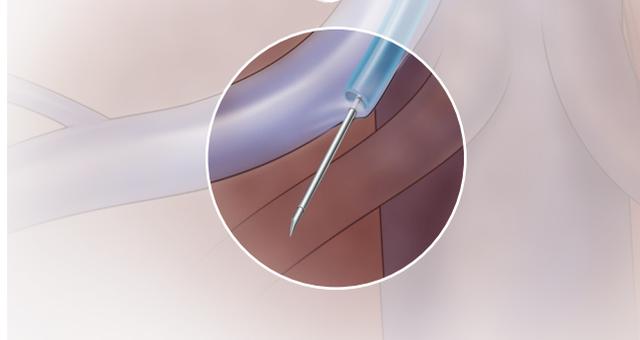
10



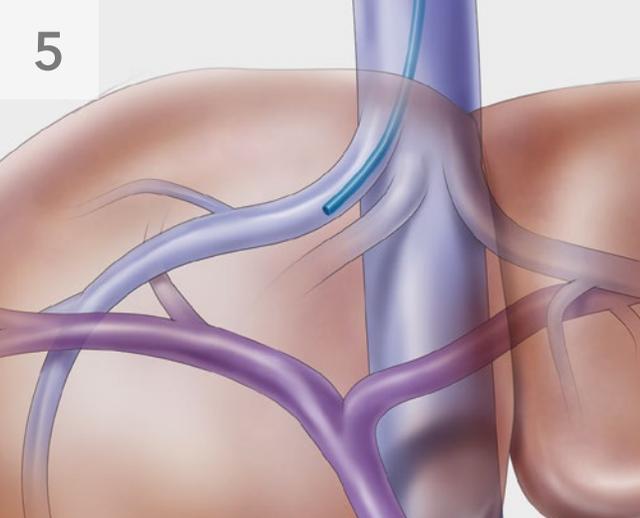
Quick-Core® Biopsy Needle を動かさないようにしながらインナースタイレットを押し、生検部位の内部で採取ノッチを露出させます。



さらに、プランジャーを完全に押し込み、カッピングカニューラにて組織を収容します。



5



Check-Flo Performer® リバーアクセスセットが肝静脈内に到達したら、ストレートカテーテルとガイドワイヤを抜去します。

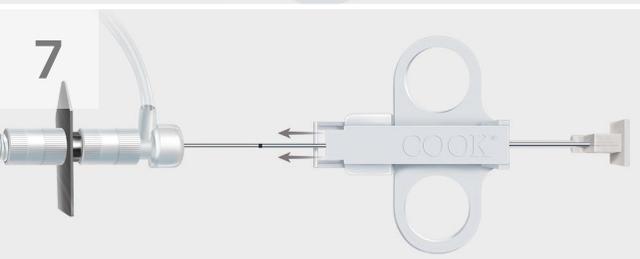
注：金属製スティッフニングカニューラからストレートカテーテルを抜去する際、ストレートカテーテルを損傷しないように注意してください。抜去の際、ストレートカテーテルにガイドワイヤを通したままにしておくと、ストレートカテーテルが損傷しにくくなります。

6

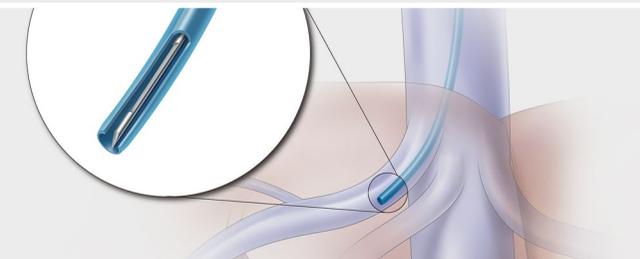


カチッと手応えを感じるまで、Quick-Core® Biopsy Needle のプランジャーを手前に引くと、生検針のスプリングがロックされ待機状態となります。この時点では、採取ノッチはカッティングカニューラに完全に覆われています。

7



スタイレットを完全に収納した状態で、Quick-Core® Biopsy Needle を Check-Flo Performer® リバーアクセスセットに挿入し、カニューラ近位部のエッチングマークが Check-Flo バルブアダプタのハブに達するまで差し込みます。これにより、生検針の先端がアクセスセットの遠位端に到達します。

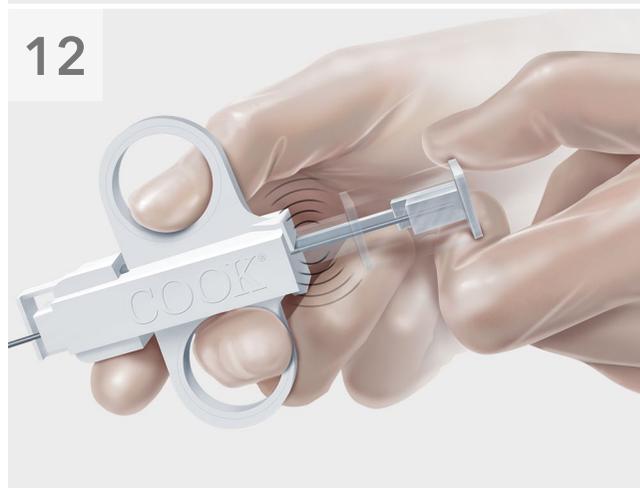


11

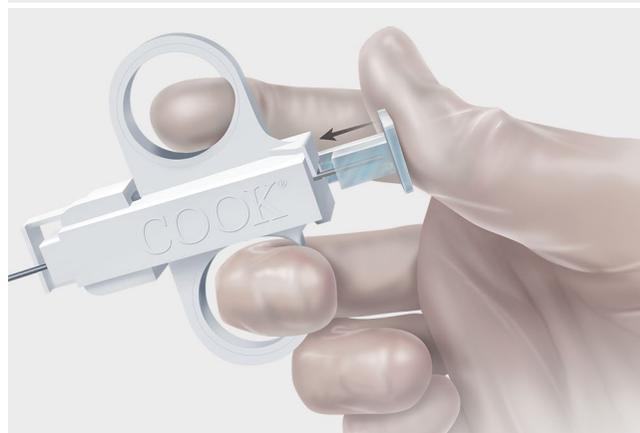


Quick-Core® Biopsy Needle を生検部位から抜去し、Check-Flo Performer® リバーアクセスセットから完全に抜き取ります。

12



組織を回収するため、カチッと手応えを感じるまでプランジャーを手前に引きます。これでカッティングカニューラが固定されます。



スタイレットを押し、組織を露出させます。

注：カッティングカニューラが再び作動しないように、抵抗を感じた場合はスタイレットを押しのをやめてください。



採取ノッチから組織を回収します。



製造販売元
クックメディカルジャパン合同会社
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1
中野セントラルパークイースト
TEL: 03-6853-9470
cookmedical.co.jp

Asia Pacific Customer Service

Australia: +61 734346000, cau.custserv@cookmedical.com
China: +86 2154519599, chinacssupport@cookmedical.com
Hong Kong: +852 34721688, cs.cahk@cookmedical.com
India: +91 4426793000, india.orders@cookmedical.com
Japan: +81 368539470, info-japan@cookmedical.com
Korea: +822 62923500, kr.orders@cookmedical.com
Malaysia: +603 79621688, cs.malaysia@cookmedical.com
Singapore: +65 63207678, cooksea.cs@cookmedical.com
Taiwan: +866 266283500, cooktwn@cookmedical.com
Thailand: +662 1688630, th.orders@cookmedical.com
SADC: +65 63207600, sadc_cs@cookmedical.com
cookmedical.com

